

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2001-29652(P2001-29652A)

【公開日】平成13年2月6日(2001.2.6)

【出願番号】特願平11-206769

【国際特許分類】

A 6 3 F	13/00	(2006.01)
A 6 3 F	13/04	(2006.01)
G 0 6 T	15/70	(2006.01)
G 0 6 T	17/40	(2006.01)

【F I】

A 6 3 F	13/00	C
A 6 3 F	13/04	
G 0 6 T	15/70	A
G 0 6 T	17/40	A

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月9日(2006.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のパーティオブジェクトを組み合わせて構成されている集合オブジェクトの画像を生成する画像生成システムであって、

前記集合オブジェクトに衝撃が加わった場合に、衝撃位置を含む所定範囲内に存在するパーティオブジェクトを表示態様を変化させる対象として決定する変化対象決定手段と、

変化対象として決定されたパーティオブジェクトの形状、色、位置、回転、向き、移動方向、速度の少なくとも一つを変化させて画像生成を行う手段とを含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項2】 請求項1において、

前記パーティオブジェクトの表示態様を変化させる範囲を、衝撃の大きさ、衝撃の方向、集合オブジェクトの種類の少なくとも一つに基づき決定することを特徴とする画像生成システム。

【請求項3】 請求項1又は2のいずれかにおいて、

前記パーティオブジェクトの表示態様を変化させる範囲をランダムに決定する手段を含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項4】 請求項1乃至3のいずれかにおいて、

衝撃位置から離れたパーティオブジェクトほど遅延させて表示態様を変化させる手段を含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項5】 請求項1乃至4のいずれかにおいて、

所与の時間の経過に伴い、第一の表示態様に変化したパーティオブジェクトを第二の表示態様に変化させる手段を含むことを特徴とする画像生成システム。

【請求項6】 請求項1乃至5のいずれかにおいて、

衝撃による変化後のパーティオブジェクトの画像を生成するための複数の変化画像パターン用意しておき、複数の変化画像パターンの中から選択された所与の変化画像パターンに基づき衝撃による変化後のパーティオブジェクトの画像を生成することを特徴とする画像生

成システム。

【請求項 7】 請求項 1 乃至 6 のいずれかにおいて、

複数形状のパーティオブジェクトを隙間なく組み合わせて、集合オブジェクトを構成する事を特徴とする画像生成システム。

【請求項 8】 請求項 1 乃至 7 のいずれかにおいて、

前記集合オブジェクトに衝撃が加わる以前は、単一のオブジェクトとして構成して画像生成を行い、

衝撃が加わった後は、複数のパーティオブジェクトの集合オブジェクトとして構成して画像生成を行うことを特徴とする画像生成システム。

【請求項 9】 複数のパーティオブジェクトが集合して構成されている集合オブジェクトの画像を生成する画像生成システムを動作させるためのプログラムが記憶されたコンピュータが使用可能な情報記憶媒体であって、

前記集合オブジェクトに衝撃が加わった場合に、衝撃位置を含む所定範囲内に存在するパーティオブジェクトを表示態様を変化させる対象として決定する変化対象決定手段と、

変化対象として決定されたパーティオブジェクトの形状、色、位置、回転、向き、移動方向、速度の少なくとも一つを変化させて画像生成を行う手段と、

を実現するために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 10】 請求項 9 において、

前記パーティオブジェクトの表示態様を変化させる範囲を、衝撃の大きさ、衝撃の方向、集合オブジェクトの種類の少なくとも一つに基づき決定するために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 11】 請求項 9 又は 10 のいずれかにおいて、

前記パーティオブジェクトの表示態様を変化させる範囲をランダムに決定するために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 12】 請求項 9 乃至 11 のいずれかにおいて、

衝撃位置から離れたパーティオブジェクトほど遅延させて表示態様を変化させるために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 13】 請求項 9 乃至 12 のいずれかにおいて、

所与の時間の経過に伴い、第一の表示態様に変化したパーティオブジェクトを第二の表示態様に変化させるために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 14】 請求項 9 乃至 13 のいずれかにおいて、

衝撃による変化後のパーティオブジェクトの画像を生成するための複数の変化画像パターン用意しておき、複数の変化画像パターンの中から選択された所与の変化画像パターンに基づき衝撃による変化後のパーティオブジェクトの画像を生成するために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 15】 請求項 9 乃至 14 のいずれかにおいて、

複数形状のパーティオブジェクトを隙間なく組み合わせて、集合オブジェクトを構成するために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。

【請求項 16】 請求項 9 乃至 15 のいずれかにおいて、

前記集合オブジェクトに衝撃が加わる以前は、単一のオブジェクトとして構成して画像生成を行い、

衝撃が加わった後は、複数のパーティオブジェクトの集合オブジェクトとして構成して画像生成を行うために必要なプログラムを含むことを特徴とする情報記憶媒体。